

平成 30 年度採用

専攻医（後期研修医）をこころざす皆様へ



地方独立行政法人神戸市民病院機構

神戸市立医療センター中央市民病院

病 院 紹 介



はじめに

神戸市立医療センター中央市民病院は、開設以来 90 年の歴史を通じ、常に市民の多様な医療ニーズに応える努力を続けており、平成 21 年 4 月には、患者サービスの向上やより効率的な病院経営をめざすべく、地方独立行政法人としての経営形態に移行した。

平成 23 年 7 月に、救急医療を基盤にし、チーム医療による質の高い医療が提供できる“21 世紀にふさわしい病院”となるべく、現在地に新築、移転した。さらに、平成 28 年 8 月には精神科身体合併症(MPU)の設置、手術室の増室等による診療機能の充実及び外来の混雑緩和等のため増築した。

当院は、総延床面積約 89,400 m²、ベッド数 708 床の日本有数の基幹病院としての外観・設備を備え、従来の診療科の枠にとらわれず、あくまで患者中心に各科の医師が協同して診療ができるよう、臓器別、疾患別の総合診療体制を実施している。厚労省の「全国救命救急センター評価」において現在まで 3 年連続全国第 1 位の評価を得ている。(平成 26～28 年度)

当院では“救急医療の充実”に加えて“高度医療ができる医療機器の整備・充実”、“医師とコメディカルの教育・臨床研究の充実”を 3 本の柱とし、現在は勿論、将来においても最も進歩した医療サービスを常に提供できるような体制づくりに努めている。

平成 25 年度に TAVI 及び手術支援ロボット「ダヴィンチ」の導入を行っている。また、救急医療の充実の一貫として「人工肺とポンプを用いた体外循環回路による治療」すなわち ECMO を導入している。

当院では教育・研修に力を入れており、臨床研修センター、学術支援センターの立ち上げにより、研修の充実や学会発表、症例報告などの支援に加え、臨床研究の立案、まとめ、論文執筆などの専門家による支援も行っている。

さらに平成 28 年 4 月より、病院職員の資質向上のための能力開発・スキルアップ支援を目的として人材育成センターを立ち上げ、同年 8 月には研修棟を増築し、研修ホール、トレーニングラボ、外科系ラボ等を供用開始した。

加えて、当院は、各学会の専門医（認定医）の研修病院となっており、各診療科において充実した臨床修練を積むことができる。また、臨床研究をさらに充実すべく、臨床研究等の中核病院を目指している。

当院での研修はハードな毎日となりますが、恵まれた環境の下でレベルの高い専門研修（後期研修）を望むファイトある皆様の参加を切望します。

病院長 坂田 隆造

専門研修(後期研修)をころざす皆様へ

当院の初期研修制度は1968年(昭和43年)にスタートし、豊富な臨床経験を積むことができるプログラムによって、高い初期診療能力を有する実力のある医師を養成してきました。しかし、当然ながら我々が遭遇する多くの疾患のなかには初期診療だけでは解決できず、より専門的な診療を要する例も多くあります。初期研修を修了した後、各診療科の医師としてさらに成長していくためには、その目的にかなった体系的な研修の後期課程が必要です。当院の専攻医研修プログラムは1981年(昭和56年)に開始され、こちらも長年の歴史があり、多くの優秀な医師が当院の専攻医プログラムを修了し、全国各地の幅広い領域で活躍しています。当院の専攻医プログラムでは、全国公募で試験を行うことで意欲と能力のある人に公平に機会が与えられるよう留意するとともに、各分野のカリキュラムに基づいた教育・指導・評価を行い、担当の委員会が継続的に全体のシステムと個々の医師のサポートを行なっています。

当院の診療体制の最も大きな特徴は、北米型ER(救命救急室)、つまり24時間・365日を通して軽症から重症までのあらゆる救急患者を受け入れ、ER専任医によって全ての科の診断および初期治療を行い、必要に応じて各専門科にコンサルトするというシステムにあります。年間の救急外来患者数は約34,400人、救急車搬入患者数も約9,600人と、当院では非常に多くの救急患者の診療を、独立した救急部と各専門診療科スタッフ、初期研修医、専攻医の緊密な連携のもとで行っています。この中で、専攻医は初期診療から各科の専門的診療に至る過程で重要な役割をはたしており、皆さんがどの診療科を選択しても、大学病院など高度に専門的な医療に特化した施設では得られない、医療の最前線の広範な経験を重ねることができます。また、病院全体、各診療科での救急診療に対する指導体制が確立しており、わからないことがあれば指導を仰げる専門家が必ずいるという充実した環境と体制が維持されています。

当院のもう一つの特徴は、神戸市の基幹病院として、救急患者だけでなく、他の医療機関では対応困難な高度医療を担っており、救急医療と並んで当院を支える大きな柱となっています。また、わが国の各領域での専門家による講演会や理化学研究所発生再生科学総合研究センターとの合同研究セミナーなど教育のさらなる充実にも力を入れており、さらには、学術支援センターを中心に、専攻医を含む当院医療スタッフの学術活動の支援体制が整っています。

昨今、医師と医療を取り巻く環境は目まぐるしい変化を続けています。このような状況下で、最後に頼りになるのは各医師自身が身につけた医学と臨床の力です。当院の専攻医プログラムは、初期研修を終えた皆さんがより高く専門的な臨床能力を習得し、医療を通じて社会に貢献できるようになるために、大きな力となるものと確信しています。意欲と夢を持った皆様の応募を歓迎します。

歯科・歯科口腔外科

概要

部長：竹 信 俊 彦

スタッフ：4名 専攻医：2名 初期研修医 4名

平成 28 年度 新規入院患者数：407 人

(顎変形症：66、顎変形症術後・骨折術後の抜釘：61、顎骨嚢胞：75、埋伏 抜歯等：49、唾液腺関連：47、顎顔面骨折：22、など)

新規外来患者数：4,199 人

外来手術件数：1,226 件

研究活動・学会発表：国内 24

論文掲載：和文 4

特徴

1. 診療科数 34 の総合病院の中で口腔外科疾患を中心に幅広い症例が経験できる。
2. 特に顎変形症、唾液腺疾患、顎顔面外傷、救急対応などの症例については多くの症例を経験できる。
3. 日本口腔外科学会認定指定研修機関であるので、研修医に引き続き専攻医の間で口腔外科認定医の資格を得ることができ、更に専門医資格に向けた実績を積むことができる。また日本顎顔面インプラント学会指定研修機関でもある。

一般目標

1. 口腔顎顔面領域の疾患に対する医療にとどまらず、顎口腔の果たす役割が理解できる口腔外科医として、オールラウンドな能力を習得すること。
2. 他の医療従事者と協調して診療にあたり、医療チームの一員として、またリーダーとしての自覚を育成すること。
3. 日本口腔外科学会認定医を取得し、さらに専門医試験受験資格（論文、学会発表）を取得すること。

行動目標

- 1年目：** 日本口腔外科学会および関連学会への発表および論文1編
 医療面接・基本的身体診察を習得する。
 口腔外科にとって必要な関連医学知識の履修
 臨床検査値の評価
 画像情報（CT、MRI 核医学検査、超音波検査）の評価
 応急処置、高頻度口腔外科手術
- 2年目：** 日本口腔外科学会および関連学会への発表および論文2編
 顎炎ないし蜂窩織炎手術、口腔並びにその付近に発生する嚢胞、腫瘍の摘出手術
 などの診断、治療ができる
- 3年目：** 日本口腔外科学会および関連学会への発表および論文2編
 顎骨骨折手術、顎変形症関連に対する手術
 口腔並びにその付近に発生する嚢胞、腫瘍の手術
 手術症例については大小100例以上の執刀者となることを目標とし、2年次、3年次の目標項目2)に挙げる手術20例以上を含むものとする。

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
				病棟回診 (8時30分)	
午前	初診 外来手術	初診 入院手術	初診 外来手術	初診 外来手術	初診 入院手術
午後 [専門外来]	外来手術 〔顎変形 症・歯槽骨再 生外来〕	入院手術	入院手術	外来手術 頭頸部外科 外来	[インプラント] [全身管理] 入院手術
		カンファレンス	研修医勉強会	研修医勉強会	研修医抄読会

見学等問い合わせ先

竹 信 俊 彦 : takenobu@kcho.jp

神戸市立医療センター中央市民病院 Q&A

Question 1

専攻医（後期研修医）の試験はどのように行われますか？

Answer

小論文（事前提出）と面接があります。試験は一日で終了します。

Question 2

試験の内容はどのようになっているのでしょうか？

Answer

面接は15分程度の予定で、1分間の自己アピールをしてもらったあと簡単な質問をします。医学的な内容も含まれます。

Question 3

貴院で初期研修をしていないのですが採用に不利でしょうか？特定の大学や医局とのつながりがないと不利ということはありませんか？

Answer

当院では、専門研修（後期研修）と初期研修は切り離して採用しています。当院で初期研修を行った人も、外から応募される方もまったく同じ試験と採点基準で選抜を行います。もちろん出身大学や関連医局などによって有利不利が生じることはありません。選考における公平性はとくに重視してきました。全国のいろいろな病院で研修を受けた人たちが交わることで、病院がより活性化すると考えています。要はあなたのやる気と能力です。

Question 4

まったく貴院のスタッフと面識がないのですが受験してもかまわないでしょうか？事前に訪問する必要はないでしょうか？

Answer

やる気と能力のある人なら、北は北海道から南は沖縄まで、誰でも歓迎します。ただ病院の特色や、志望する診療科の内容をよく知らないで受験し、後で「こんなはずではなかった」となると困るので、原則として受験までに一度は見学にお越しいただき、スタッフと話をしてください。見学希望などの連絡先（メール）は、各科のページにありますので、遠慮なく問い合わせてください。

Question 5

3年間の研修後の進路は？

Answer

進路については、担当部長が責任を持って相談に応じており心配は無用です。もちろん本人の希望が最優先されます。決して路頭に迷うことはありません。なお当院のスタッフについては、欠員があれば採用候補になります。

Question 6

2年間の研修が希望なのですが可能でしょうか？

Answer

当院の後期研修（歯科）は3年を基本としています。3年を前提として受験してください。



神戸市立医療センター中央市民病院

神戸市中央区港島南町2丁目1番地1

TEL (078) 302-4321(代)

FAX (078) 302-7537

ホームページ

<http://chuo.kcho.jp>

(問い合わせ先: 事務局総務課)